

とらいあんぐる

「とらいあんぐる」とは…

利用者様と家族様、地域の皆様、私たちみゆきの丘の“つながり”を表した言葉です。

〒999-3161

山形県上山市弁天2丁目2-11

☎023 (672) 8585

みゆきの丘

検索

「在宅復帰支援」の方針にご理解をお願いいたします

みゆきの丘施設長 仙道富士郎



この4月からみゆきの丘の平成28年度の仕事が始まりました。

みゆきの丘では、「入所者とその家族の立場に立った介護を」の旗印のもと、職員が一丸となって頑張っておりますが、円滑な施設運営ができていながらも、地域の皆様の日頃からのご理解・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、介護老人保健施設（老健）は、病院と自宅をつなぐ役割を果たす施設として作られました。それは、少子高齢化に伴う医療費高騰を抑制しながら、いかに老人の健康寿命を延長させるかという総合的な医療・介護政策の一環として生まれたものですが、社会状況の変化などから、制度の中のひずみも出てきました。

そこで、国は「住み慣れた地域で安心した生活を」というスローガンのもと、老健に対しても、入所者にできるだけ地域に帰ってもらうための「在宅復帰支援」を中心的な役割に据えるよう求めるようになりました。

もとより、住み慣れた地域で老後を過ごすことは望ましいことです。みゆきの丘においても、国の政策に沿った形で、在宅復帰支援を進めていきますが、それは、あくまでも「入所者とその家族の幸せ」のためという大原則に立った上での話で、現在、みゆきの丘らしい在宅復帰支援の在り方を模索しているところです。

私たちの大原則を守ったうえで「在宅復帰支援」を実施するために何よりも大切なことは、利用者・家族の皆さまと私たち職員が納得のいくまでしっかりと話し合い、利用者の将来ビジョンについてお互いの理解を深めていくことだと思っています。

あらためて、地域の皆様の当施設へのご支援をお願い申し上げ、年度初めのご挨拶とさせていただきます。

高齢者に接して思うこと

医師 渡邊 好博



私が、高齢の利用者について特に問題に思うことが二つあります。その一つは認知症と手足の不自由です。そのためには、普段からそうならないように努力しなければなりません。先ずボケないように、できるだけ本や雑誌を読むように心がけましょう。絵や字を書くようにしましょう、つまり手と頭を普段から使う事が大事です。手足の筋肉を出来るだけやせないように使いましょう。手足を使う運動に心がけ、色々な事を積極的にするように努力しましょう。手を使い足を使ってなんでも出来るだけ積極的にやるように心がけましょう。

もう一つは誤嚥性肺炎の予防ということです。嚥下機能（物を飲み込む機能）を改善するためには、そのための訓練つまりリハビリテーションが必要となります。会話をする事歌うなど、口と喉を積極的に動かすことが誤嚥の防止に役立つのです。

歳をとると、口が重くなり、手足も動かさない人が多くなります。これでは脳も若さを失ってきます。元気もなくなってしまいます。口を動かして脳にも若さを取り戻しましょう。これが80歳以上まで元気に長生きするコツだと私は思います。



平成28年度新規採用職員辞令交付式



新人研修会が開催されました！！

今年も去る4月1日に、平成28年度みゆき会新規採用職員辞令交付式並びに研修会が、みゆき会病院みゆきホールで行われました。看護師、リハビリ職員、介護職員など、合わせて35名の初々しい職員の皆様が、みゆき会で新たなスタートをきりました。社会人としての基本的なマナーや、専門職として働くことの意義、またみゆき会の沿革や連携することの重要性など丸1日研修に励みました。今後、早く職場の環境に慣れ、新たなみゆき会の力として、頑張っていくことを確かめ合った1日となりました。皆様、どうぞよろしく申し上げます。



『レクリエーションについて』の勉強会

2月25日にレクリエーションについての勉強会が行われました。各フロアでさまざまな勉強会を企画し開催していますが、今回は2番街主催の勉強会でした。

レクリエーションに取り組まれる利用者様の様子やレクリエーション実施前後の表情の変化などがスクリーンに映し出されました。

各フロアで色々と工夫したレクリエーションを行っていると思いますが、改めてレクリエーションを行うことの意味、大切さを感じることができました。



リハビリの紹介

みゆきの丘には施設サービス部門と在宅サービス部門があります。在宅サービス部門の通所リハビリテーションを紹介します。通所リハビリテーションでは、施設に通ってリハビリテーション、レクリエーション、食事、入浴等のサービスをご利用いただけます。

Q みゆきの丘でリハビリしたいけどどんなことをしてくれるの？



A ①困っていること及び現状を聞き取りします。

膝が痛い・腰が痛い、トイレの動作が上手くできない、外に歩いて出かけたがたい…など

②現状から原因を探り、目標を立てます。

足腰の力が弱っている・立つときのバランスが悪いために立ってられない・持久力がない…など

③ストレッチや筋力トレーニング・歩行練習など実行していきます。

④通所リハビリは週2～3回程度の利用となりますので、自宅でできる自主トレーニングメニューの提案を行い実践していただきます。



栄養管理委員会

栄養委員会は、みゆきの丘の施設長をはじめ各部署とグループホーム笑顔、デイサービス金生の職員と給食を委託しているシダックスのメンバーで構成される委員会です。

委員会では入所者様、利用者様の栄養管理に関わることや、安全に美味しく食事を食べていただけるよう食事の形態や内容について話し合っています。

また、入所では月に1度の行事食の実施や、通所では不定期ではありますが調理の実演などイベント食を実施しています。今後も皆様に喜んでいただけるお食事を届けられるよう取り組んでいきたいと思ひます。



新人紹介

名前 いとう けいこ
伊藤 恵子
(通所リハビリ)

コメント
物作りが大好き。いつも何かを作っています。ご指導よろしくお願ひします。

名前 こばやし のりあき
小林 則昭
(ケアサポート蔵王)

コメント
「介護になっても笑って暮らせる生活を目指して」を心情に頑張りたいと思います。

名前 さとう みき
佐藤 美喜
(業務課)

コメント
初心を忘れず、日々努力していきたいと思ひます。

名前 ながぬま みき
永沼 美樹
(ヘルパーステーション)

コメント
利用者様、ご家族様が安心していただけるような介護を精一杯頑張りたいと思ひます。

名前 さとう ともみ
佐藤 智美
(ケアサポート蔵王)

コメント
初めての環境、仕事にまだ慣れないことも多いですが、一生懸命頑張りたいと思ひますので、よろしくお願ひします!!

名前 さとう ゆたか
佐藤 豊
(通所リハビリドライバー)

コメント
気持ちよく施設を利用できる様に心掛けていきます。

名前 やぎさわよしえ
八木澤圭絵
(5番街)

コメント
分からないことが多く、ご迷惑をお掛けすると思ひますが、利用者様のために頑張っていきたいと思ひます。

名前 うめつ めぐみ
梅津 恵
(2番街)

コメント
一生懸命がんばります。よろしくお願ひします。

名前 わたなべ ともこ
渡辺 友子
(5番街)

コメント
長生きしてよかったと笑顔で喜んでもらえるように、一日一日を大切に私も100%の笑顔でお世話ができたら幸いです。毎日が楽しいです。

名前 いとう ちひろ
伊藤千妃呂
(3番街)

コメント
不慣れな事が多く、ご指導して頂く事あると思ひますが、一生懸命やっていきたいと思ひます。宜しくお願ひします。

名前 とがせ じゅんや
梅瀬 純也
(2番街)

コメント
何も分からないですが頑張ります。

名前 わたなべ ちひろ
渡辺 千尋
(2番街)

コメント
頑張りますのでお願ひします。

名前 おかだ まりか
岡田真梨香
(5番街)

コメント
皆様ご指導よろしくお願ひします。

名前 おおたき じゅんこ
大滝 淳子
(通所リハビリ あかね)

コメント
ヘルパーステーションから通所に異動で戸惑う事もありますが、これから宜しくお願ひします。

名前 やまぐち しおり
山口 詩織
(3番街)

コメント
仕事に早く慣れるよう頑張ります。



脱水症の危険は5月から



脱水症は進行するまで症状が出にくいのが特徴です。脱水症になりかけているのに本人や周囲が気付いておらず、有効な対策がとれていない状態を「かくれ脱水」と呼びます。夏バテの背景には「かくれ脱水」が潜んでいることも。

高齢者が「かくれ脱水」の段階で脱水症を予防していくために「べた」「だる」「ふら」「いた」の夏の脱水症状サインぜひ覚えておきましょう。高齢者が経口補水液を摂るための早期対応の目安となります。(経口補水液は薬局で購入できる、水分や電解質を補給するのに適した飲み物です。)

「べた」は、汗はかいていないように見えるが、なんとなく皮膚がべたべたした感じになること。実際に首筋などを触ると少しべたべたしている状態です。こまめに水分補給と適度な塩分を摂ることをお勧めします。

「だる」は、見た感じで元気がない。食欲が減退していると感じられるとき。高齢者は、あまり喉が渴いたという感じを感ぜません。適切な経口補水液の摂取が脱水の進行を防ぎます。

「ふら」は、めまいや立ちくらみ、少しふらふらしているように見え熱中症Ⅰ度の状態が進んでいます。嫌な汗をかき、汗がとまらなくなるときがあります。ほっておくと脳症状＝血圧低下につながります。水分だけを摂ると低ナトリウム血症を引き起こす段階。経口補水療法をすぐに始めることです。

「いた」は、足がつったり、頭痛が現れている状態。熱中症Ⅱ度分類される症状に近くなっています。カラダのさまざまな場所にごむら返りや、とくに顔に熱っぽい状態が起こります。経口補水液をすみやかに摂取し、改善しない場合は医師の判断を仰いでください。

○すぐにできる脱水症の早期診断方法○

- 爪を押したあと、色が白色からピンク色に戻るまで3秒以上かかる。
- 皮膚に張りがない。
- 手の甲をつまみあげた後が戻らない「富士山」ができる。
- 舌の表面に亀裂がある。
- 口の中が乾燥している舌が白いものに覆われている。
- 手足が冷たくなっている。
- 舌の赤身が強い。

